

グローバルな視座を持った政策金融機関として、多国間連携や特別業務を含むリスクテイク機能等の**独自のソリューション**を活用し、**対外経済政策実現**を後押しする。

【ポーランド/BGK発行サムライ債保証】



【インドにおける2023年度の主な支援実績】

案件名	案件概要
日印共同投資ファンド (India Japan Fund)	出資対象はインドのクリーン・グロースセクター。インド政府と共にLP出資。
GREEN (事業開発等金融)	国営発電公社(NTPC、NTPC RE、NHPC)や国営銀行(PFC)向けにGREENを複数提供。
IndusInd向け農機セクター裾野産業支援	クボタ、ヤンマーの日系建機メーカーのディーラー・サプライヤー・販売金融事業者支援。
NTT GDCI向けデータセンター事業支援	NTTのインド法人(NTT GDCI)が実施する新規データセンター事業向け支援



再生可能エネルギー事業



廃棄物・水処理事業



電気自動車関連事業



日本企業の関与する事業



4期中計
関連実績の件数

30件

2021年度
関連実績の件数

2件

2022年度
関連実績の件数

14件

2023年度
関連実績の件数

14件



5期中計
関連目標の件数

53件

2024年度
関連実績の件数

22件

ドイツ連邦共和国法人Eavor Erdwärme Geretsried GmbHが実施する

地熱発電及び地域熱供給事業に対するプロジェクトファイナンス(2024年4月)

案件概要

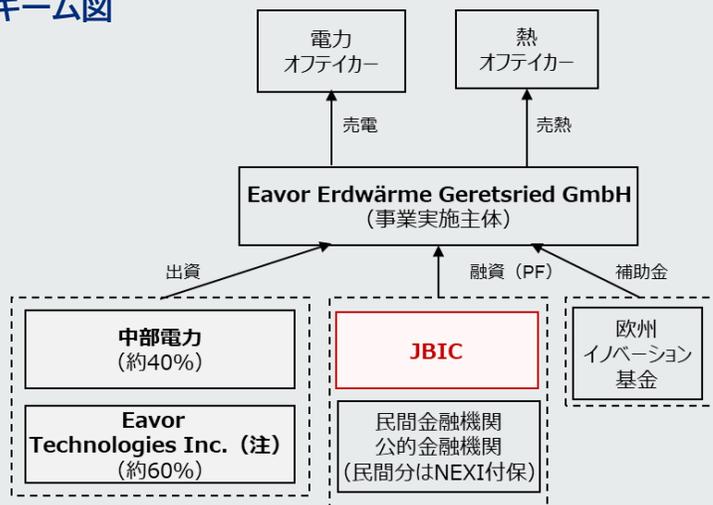
- 本プロジェクトは、中部電力株式会社(以下「中部」)が出資するEavor Erdwärme Geretsried GmbHが、ドイツのバイエルン州において、発電出力約8.2MW(熱出力約64MW)の地熱発電プラントの建設・所有・運営を行うもの。地下の深さ約5,000mにクローズドループを掘削・設置し、内部に水を循環させることで、地下熱を効率的に取り出し、地上で発電や地域熱供給を行う。
- 協調融資総額:約131百万ユーロ(うちJBIC分:約43百万ユーロ)。欧州投資銀行(EIB)、株式会社みずほ銀行、ING Bank N.V.との協調融資であり、民間金融機関の融資に対して(株)日本貿易保険(NEXI)が付保。



完成予想図

(出典:中部電力ウェブサイト)

スキーム図



(注) 略称Eavor。カナダ・カルガリーに拠点を置く、クローズドループ地熱利用技術の研究・開発、案件形成、サービス提供等を行う地熱開発企業。

案件意義

- クローズドループ地熱利用技術の初の商用化案件。**同技術を用いることで、従来の地熱発電と異なり、地下の熱水や蒸気が十分に得られない地域でも効率的に熱を取り出すことが出来るため、幅広いエリアでの開発が可能であり、同技術は地熱業界のゲームチェンジャーになり得る技術。欧州域内における安定的な再生可能エネルギー由来の電力・熱供給に貢献する案件として、欧州イノベーション基金による支援も決定。今後世界各国での商用化が期待されている。
- 中部が出資者として事業参画し、長期にわたり運営・管理に携わる海外インフラ事業を金融面から支援することで、**日本の産業の国際競争力の維持・向上**に貢献するもの。
- JBICとして特別業務の下で「技術リスク」を取る初のプロジェクトファイナンス。**
- JBICと欧州投資銀行(EIB)が締結した業務協力協定にも沿った取り組み。